

平成21年度 地域自治区振興事業予算要求書 集計

支所名 浜 益

(単位:千円)

事業区分	事業名	新・継 事業期間	要求額	事業費						備 考	
				国庫補助	道支出金	地方債	その他財源	一般財源	内基金充当		内特財
地域協働 補助	浜益区民コミュニティ普及推進事業 (区民カレンダー制作)	継続 H18～	240			承認済		240	240	0	[本庁所管] 企画調整課 [支所所管] 地域振興課 (企画振興・広報広聴)
地域協働 補助	浜益「いっぺ、かだれや」林道ウォーク事業 (林道ウォーク開催)	新規 H21～	550			承認済		550	550	0	[本庁所管] 商工労働観光課 [支所所管] 産業振興課 (商工観光)
地域協働 補助	おうとう雨よけハウス整備事業 (雨よけハウス整備)	新規 H21～	4,116					4,116	4,116	0	[本庁所管] 農林水産課 [支所所管] 産業振興課 (農林水産)
	計		4,906	0	0	0	0	4,906	4,906	0	

事業区分欄は、地域自治区振興事業[地域協働事業(補助・直営)・経過措置事業]を記入 **例 地域(補)**
内特財欄の上段には財源充当名【負担金(地域住民負担)】

平成21年度(当初要求・補正要求)



地域自治区振興事業予算調書(新規・継続)

事業名	おうとう雨よけハウス整備事業
-----	----------------

()は前年度予算額

要求額	4,116 千円	(6款 1項 2目 農業振興費)	要求課名	企画経済部農林水産課
()	()		担当者名	農政担当
(財源内訳)		該当テーマ	関連課名	浜益支所産業振興課
国庫支出金	()	1 地域協働推進事業		
道支出金	()	1 事業の目的・概要		
市債	()	果樹園におうとう雨よけハウスを整備することにより、おうとうの安定生産ならびに観光果樹振興を図る。		
その他財源	4,116	2 事業の方法		
()	()	浜益幌果樹組合(組合長 斗内寅雄 組合員11戸)が行なう、おうとう雨よけハウス整備費の一部に補助する(3ヶ年継続事業)。		
一般財源	()	3 事業実施の背景		
()	()	浜益地区の果樹栽培は明治期からの長い歴史を持っており、当初はりんごを基幹果樹として営まれてきた。しかしながら近年はりんごの消費は減少傾向にあり、代わっておうとうの需要が増加してきており、その商品価値は今後益々高まるとものと見込まれている。地域農業の振興と果樹農家の経営安定を図るためには、需要動向を適切に捉えた対応が重要であり、おうとうの生産性の確保は現時点では急務の課題となっている。		
特定財源名及び補助率・充当率		4 事業実施の効果		
地域づくり基金		<商品価値の向上>		
補助率2分の1以内・充当率100%		これまで浜益区幌地区で生産されたおうとうは、組合員個々のパッケージを用いて市場に出荷していたが、平成20年度からは市場出荷向け統一包装容器を使用するなど浜益産さくらんぼ「ラバーズオーシャンチェリー」としてのブランド化に取り組んでおり、一定の市場評価を得たところである。しかしながら摘果時期の降雨はおうとうの裂果を引き起こしこれらは市場に出荷できなくなるなど商品価値を著しく低下させる。しかしながら雨よけハウスの導入によりおうとうの裂果が防止され、市場出荷商品としての取扱量が増加することにより、より収入の安定化に寄与する。		
		<浜益地区の活性化>		
		浜益区幌地区の観光果樹園は平成18年10月の石狩市との合併効果もあり、広く市内外に認知されたことにより、年間入り込み客数が増加してきているが、おうとうについては収穫時期が6月下旬から7月下旬までの約1ヶ月間に限られることもあり、特に週末が雨天になると観光客が激減することが危惧されている。しかしながら雨よけハウスを導入することにより雨天時でも営業が可能となることから、リピーター客の確保と相俟って更なる観光客の増加が見込まれ、果樹農業、観光業の振興のみならず浜益区における地域振興策として寄与するものと考えている。		
		5 事業規模		
		1棟当りハウス規模 W=6m L=50m (300㎡型)	1棟当り事業費 1,960,000円(税別)	建設棟数 12棟(4棟×3ヶ年)
要求額のうち今年度限りのもの		6 事業費(補助金)の積算根拠		
		雨よけハウス総整備費	23,520,000 円(1,960千円×12棟)	
	千円	消費税(×5%)	1,176,000 円	
		事業費計(+)	24,696,000 円	
	千円	単年度事業費(÷3)	8,232,000 円(4棟)	
		補助金要求額(×1/2)	4,116,000 円	
		自己負担金(-)	4,116,000 円	
		7 今後の事業計画		
計	0 千円			

注意事項 1 レイアウトは自由ですが、表記の項目は調書の基本的な流れなので、必ず記載すること。
3 必要に応じ位置図及び平面図を添付すること。

2 事業費の積算資料(見積書・設計書等)があれば添付のこと。(原則A4版)